

# 平成18年豪雪に関する対応（第6報）〔最終報〕

平成18年4月14日

15:00 現在

国土地理院

豪雪に関するこれまでの国土地理院の対応は以下のとおりである。

## 1. 気象の状況（気象庁情報）

12月上旬から1月上旬にかけて、日本各地で低温となり、日本海側を中心に暴風を伴った大雪となった。1月中旬以降も、山沿いの地域を中心に大雪となる日がたびたびあった。

この結果、気象庁が積雪を観測している339地点のうち、全国の23地点で、年の最深積雪の記録を更新（観測開始以来の最も大きな値を記録）した。また、12月としての最大記録を106地点で、1月としての最大記録を54地点で、2月としての最大記録を18地点で、3月としての最大記録を4地点で、4月としての最大記録を17地点で更新した。

## 2. 体制等

### 1) 災害対策会議

1月10日（火）15時00分 「大雪に関する」災害対策会議（委員長：企画部長）を設置。

1月12日（木）10時00分 第1回災害対策会議を開催。

1月19日（木）14時00分 第2回災害対策会議を開催。

3月1日（水）気象庁が「平成18年豪雪」と命名したことに伴い、災害対策会議の名称を「平成18年豪雪」災害対策会議に変更した。

4月14日（金）15時00分 災害対策会議を閉鎖。

## 3. 主な活動状況

### 1) 現地との連絡等

現地との連絡を確保し情報を収集整理。

### 2) 会議等への出席

1月10日（火）16時00分から開催の「大雪に関する災害対策関係省庁連絡会議」に参事官が出席。

- 1月13日（金） 秋田県の雪害関係省庁合同現地調査に地理調査部長が参加。
- 1月16日（月） 長野県及び新潟県の雪害関係省庁合同現地調査に研究管理課長が参加。
- 1月18日（水） 11時00分から開催の「大雪に関する災害対策関係省庁連絡会議」に企画部長が出席。
- 2月 9日（木） 14時00分から開催の「大雪に関する災害対策関係省庁連絡会議」に測図部長が出席。
- 3月 2日（木） 11時00分から開催の「大雪に関する災害対策関係省庁連絡会議」に企画部長が出席。
- 4月12日（木） 14時00分から開催の「大雪に関する災害対策関係省庁連絡会議」に防災企画官が出席。